



ミュンヘン便り ～クリスマスとお正月～

新年明けましておめでとうございます。
Frohes neues Jahr!

もっともこの原稿を書いている今は師走中旬。クリスマスを来週に控え、冬至が目前です。今日の日の出は7時55分、日没は16時20分。でもあまり関係ありません。毎日曇ってるから、昼と夜の差があまりないのです。

通常であれば、クリスマスマーケットを筆頭に町中にクリスマスの飾りがあふれるのですが、2020年に引き続いて今年もクリスマスマーケットはなし。うーむ。大好きなグリュンコール（ケール）とソーセージの煮込みをまたしても食べるできません。ドライフルーツがたくさん詰まったパンも手に入らない・・・。

それでもモミの木マーケットは健在です（写真ご参照）。モミの木マーケットは、クリスマス前のこの時期だけ、教会や町の広場に出現し、文字通りモミの木を、しかもモミの木だけを、販売します。クリスマスツリーは本物のモミの木でなければなりません。モミの木の種類はいくつかありますが、一番好ましいとされるのはNordmantanneと呼ばれる種類です。このモミの木は針が硬くて大変チクチクするため、飾りつけを含め、取り扱う際には手袋が必須です。それほどに針が硬いため、飾りを下げても飾りの重さで針がしならずピシッとしており、クリスマスツリーの美しい仕上がりに適しているのです。

高さは色々あり、例えば100～140 cmまで36ユーロ、160 cmまで40ユーロ、180cmまで56ユーロ、といった具合です。200cmを優に

超える大きいものもありますし、50cm位のかわいいモミの木もあります。家庭用には通常、160～200cmほどのモミの木が使われることが多いようです。モミの木マーケットで木の枝ぶり、広がりや左右の対称性などを慎重に見極め、気に入った木を筒状ネットにまとめてもらいます（写真ご参照）。どのモミの木マーケットにも、モミの木を筒状にまとめるための専用の筒状装置が置いてあります。ネットに入れたモミの木は（重い!）、車の屋根に積んだり、自転車の後ろにつけた荷物カートに入れたりして持って帰ります。

持って帰ったモミの木は、専用のスタンドに立てます。このスタンドには水を貯められます。1月6日（三人の王様の日）までの数週間、モミの木がもつようにするためです。モミの木は相当に重たいにもかかわらず、その下端のみにおいて木全体をしっかりと支えるモミの木スタンドには、それ相応の技術的工夫が必要ですね。そこで特許です。例えばある欧州特許のクレーム1（英文バージョン）の始まりは次の通り。

Tree stand (1), in particular Christmas tree stand, having a clamping device (2) with a pivotably mounted clamping lever (3) ...

（ツリースタンド、とりわけクリスマスツリースタンドであり、回転可能に取り付けられたクランピングレバーを有するクランピング装置を有し・・・）

モミの木はこのようなスタンドの中で静かに出番を待ちます。出番は12月24日。モミの



木の飾りつけはその日の午前。多くの場合、居間に置かれ、両親や祖父など大人が飾りつけをします。子供は一家で教会から帰ってくるまで居間に入るのを禁じられます。皆で教会に行った後、クリスマスツリーにロウソクが点火され、呼び鈴が鳴って初めて子供たちは居間に入るのを許可されます。近頃ではロウソクの火を使う家庭は少ないようですが、ロウソクの灯がゆれるクリスマスツリーは格別です。

飾りつけをしたクリスマスツリーは1月6日まで置いておくことになっています。何となく、日本の松の内に似ていますね？ そうですね、門松などのお正月飾りとクリスマスの飾りにも共通点がたくさんありますね。両者ともに、針葉樹や赤い実、金銀の飾りを使います。

クリスマスもお正月も、新しい年の平穏と健康を願うことにおいてまた共通します。本年が皆様にとって健康に恵まれた穏やかな良いお年となりますように。

筆者紹介



稲積 朋子 (いなづみ ともこ)

1994年弁理士試験合格。2012年ヨーロッパ弁理士試験合格。現在、GIP Europe Patentanwaltskanzlei所属。

1997年、新樹グローバル・アイビー特許業務法人入所し、主に国内外の出願及び権利化業務を担当。2007年

11月より、ミュンヘンの現地提携事務所に駐在。2009年1月、GIP Europe設立。日本企業・ヨーロッパ企業からの特許出願業務・中間処理業務・異議申立・鑑定・特許無効化の手続・侵害品ウォッチング・契約書作成・係争案件などを扱う。

趣味は、山登り、ぼーっとすること、寝ること、健康づくりに励むこと。